

臨床現場における予期せぬ緊急事態に対してのチーム医療

横浜市立大学医学部 救急医学
横浜市立大学附属市民総合医療センター
高度救命救急センター
中村 京太

臨床現場における緊急事態? 救急医の立場から

- 院内急変対応
 - 緊急コール・Rapid Response System
 - 外来・病棟・放射線部
 - 手術室内
- 院外重症症例対応
 - 重症内科疾患
 - 重症外傷
 - 多数傷病者

臨床現場における緊急事態



人・場所・物・時間

- 医療スタッフと傷病者数のバランス
- 緊急度、重症度と提供可能なリソース・時間のバランス
- 資器材・場所の問題

CRM components

個人、認知要素

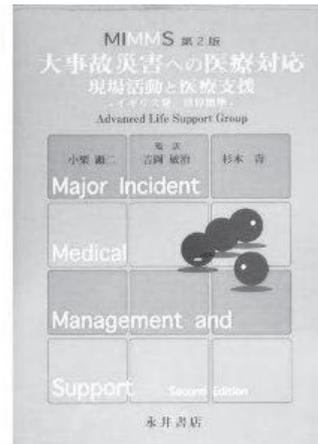
- Human factorの限界
- 優先順位をダイナミックに決定
- 予想と計画
- 入手可能なすべての情報を利用
- いつも起こり得るエラーを防止する

チームマネジメントとコミュニケーション

- リーダーシップとフォロワーシップ
- 消極的な人にも自信を
- 効率的コミュニケーション
- 作業の分担
- 早期に支援を要請する
- 利用可能な資源の有効利用

災害時医療対応の原則を、 臨床現場での緊急事態に応用できる？

MIMMS : Major Incident Medical Management and Support



Management and Support priorities 大事故災害時対応の優先順位

CSCATTT

- Command and Control : 指揮と統制
- Safety : 安全
- Communication : 情報伝達
- Assessment : 評価
- Triage : トリアージ
- Treatment : 治療
- Transport : 搬送

MEDICAL
MANAGEMENT

MEDICAL
SUPPORT

MIMMSより引用

CSCATTT

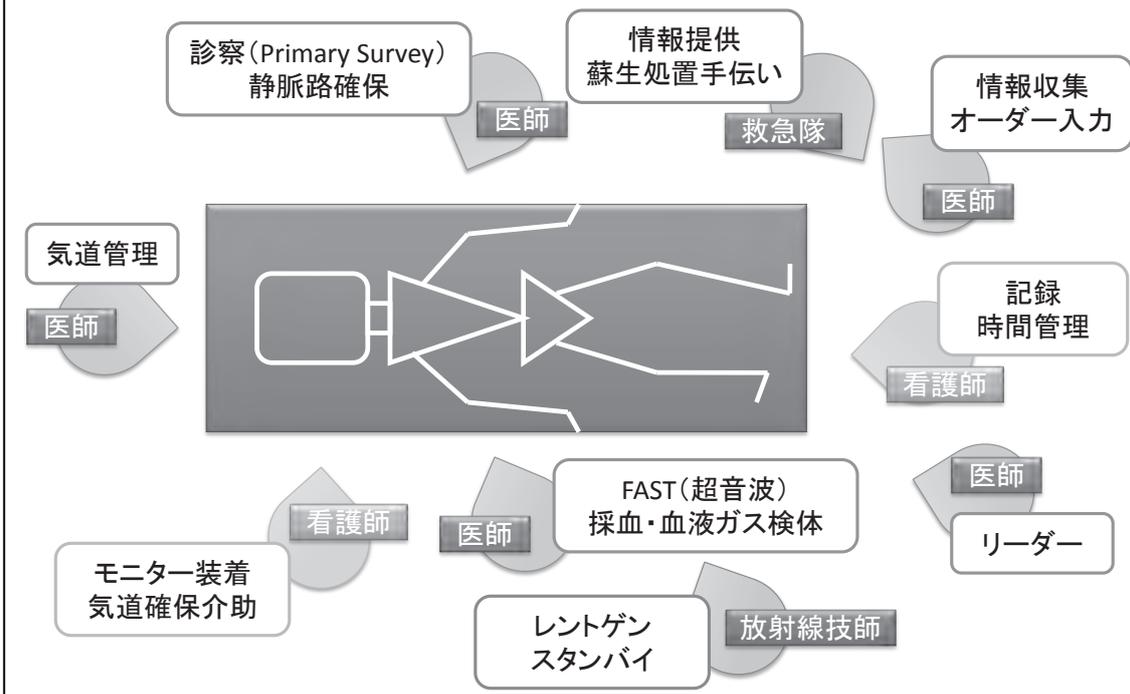
Command and control 指揮と統制

- 指揮・統制は災害時対応の鍵である
- 良好な組織間・組織内の情報伝達システムの確立によって、良好な指揮・統制体制が得られる
- 必要な役割にスタッフを分担する
⇒ Re-taskの必要性

MIMMSより引用、一部改変

CSCATTT

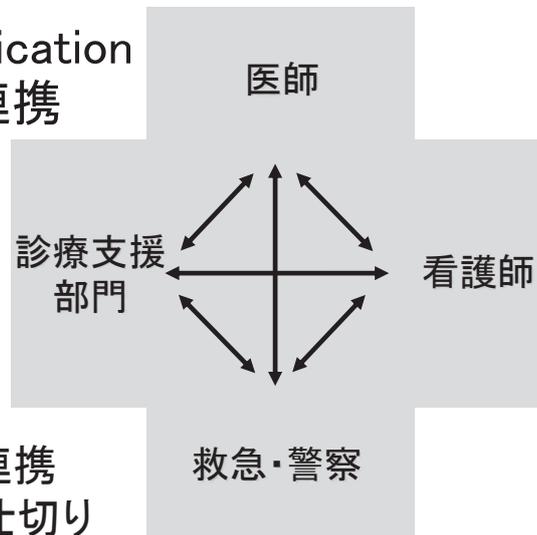
役割にスタッフを分担する



CSCATTT

Command and control: 指揮と統制 Communication: 情報伝達

The cross of communication
組織(職種)間の連携



Control: 統制

- ✓ 各組織(職種)間での連携
- ✓ 組織(職種)間調整の仕切り

MIMMSより引用、一部改変

CSCATTT

Safety 安全

- 安全の優先順位
 1. スタッフ
Staff
 - 感染防御...
 2. 状況
Situation
 - 蘇生室? 病室? 放射線部? ...
 3. 生存者
Survivor
 - 医療資器材: 救急カート、AED
薬剤...

MIMMSより引用、一部改変

Communication 情報伝達

- 職種内・職種間、専門診療科内・外
⇔効率的コミュニケーション(共通言語/通訳)
明確な意思伝達(ギアの切替が伝わる)
Speak upできる環境
- ゴール、現時点での評価・方針を共有
状況によってはbriefingができない場合も・・・
- 家族とのコミュニケーション

Assessment 評価

- 入手可能なすべての情報を収集
 - 予想と計画
 - いつも起こり得るエラーは？
 - スタッフのパフォーマンス
- 
- 明確な意思(方針)決定
 - 優先順位をダイナミックに決定(⇒トリアージ)
 - 利用可能な資源の有効利用
 - Re-taskの必要性

CSCATTT

Triage: トリアージ

- 「現時点における」優先順位を決定するものの処置・検査から実施するのか
- 何度でも繰り返し行われ、評価によってダイナミックに変更させる
- トリアージは緊急時医療支援の第一段階

MIMMSより引用、一部改変

CSCATTT

Treatment: 治療

- 治療のレベル
診療プロトコルの有無
 1. 救命処置: バイタルサインの安定化 + α
 2. 専門的治療
 3. 搬送準備

Transport 搬送

- 適切な患者を適切な時間内に、適切な場所へ搬送・収容するために・・・
- 搬送先は? 手段は?

MIMMSより引用、一部改変